

事業概要シート

施策： 農地の保全と有効活用

《 》は、29年度の当初予算

事業名： 有害鳥獣駆除事業	現状維持	予算額	14,893 千円
		《 》	9,590 千円
財源内訳	国庫支出金	5,450 千円	
	県支出金	1,811 千円	
	地方債	千円	
	その他	千円	
	一般財源	7,632 千円	

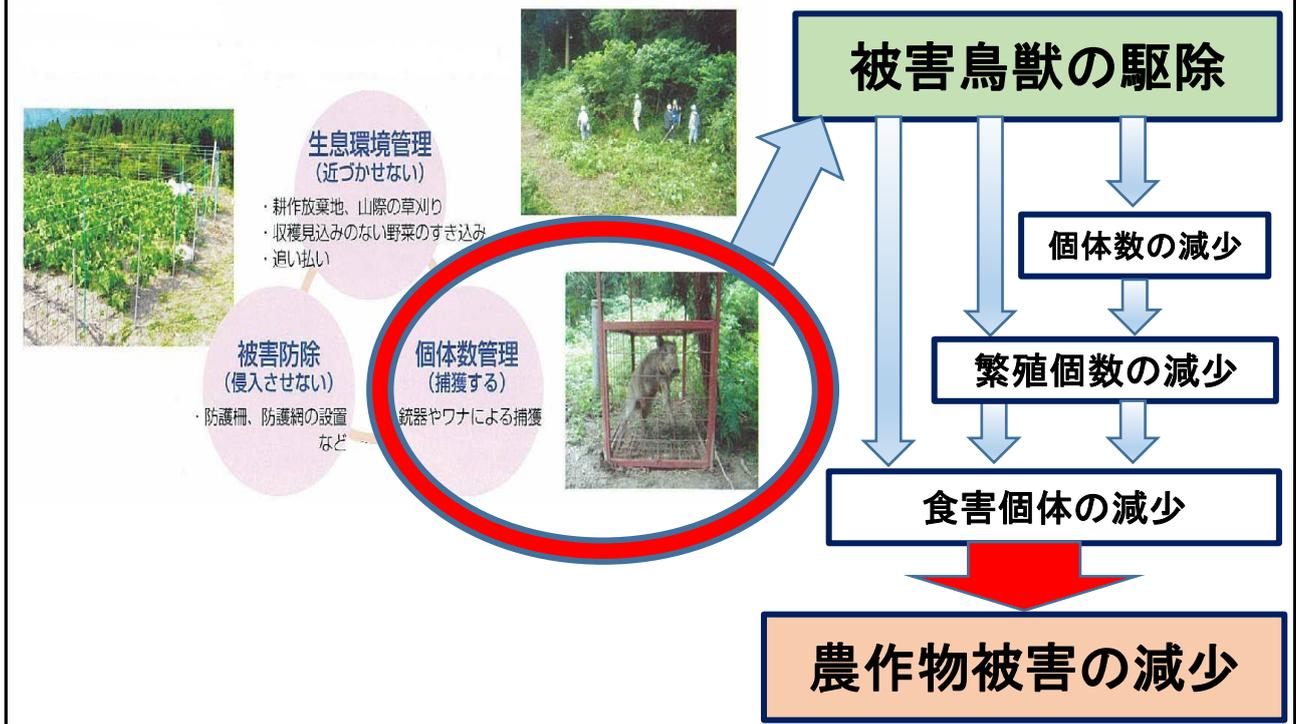
【事業の目的・概要・対象】

有害鳥獣の駆除により、農作物への被害を最小限に食い止め、生産農家の経営の安定を図る。

対象者 有害鳥獣捕獲従事者、アライグマ捕獲従事者

- ・大村市鳥獣被害対策連絡協議会が大村猟友会に事業委託している有害鳥獣捕獲事業に対し、負担金を支給する。
- ・有害鳥獣捕獲従事者が捕獲したイノシシについて、1頭当たり成獣13,500円～16,500円（捕獲頭数により変動）・幼獣8,500円以下、アライグマ・アナグマについて、5,000円以下の捕獲報奨金を交付し有害鳥獣の捕獲を推進する。
- ・捕獲の担い手育成のための狩猟免許取得講習会受講費、箱わな等捕獲資材導入等の経費に対して50%以内を補助する。（諫早・大村地域鳥獣被害対策協議会）

農作物被害の3対策「防護」、「捕獲」、「棲み分け」のうち捕獲活動を推進する。



【背景】

イノシシ等の有害鳥獣は増加傾向にあり、農作物被害の3対策として「防護」、「捕獲」、「棲み分け」を推進している。
 この事業では捕獲による農作物被害の減少と繁殖数減による頭数減少を目指して、捕獲報償金を支給し、捕獲活動の推進を行っている。

担当課	産業振興部 農林水産振興課	問合せ先	0957-53-4111 (内線257)
-----	---------------	------	----------------------

事業概要シート

【活動指標】

指標名		単位	H28 (実績)	H29 (目標)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)
①	有害鳥獣捕獲数	頭(羽)	1,375	1,200	1,200	1,200	1,200
②	狩猟免許取得講習会受講者	人	12	10	10	10	10

【成果指標】

指標名		単位	H28 (実績)	H29 (目標)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)
①	農作物被害額	千円	15,914	11,138	11,138	11,138	11,138
②							

【予算・決算】

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	合計
事業費			9,530	9,590	14,893	14,893	48,906
国庫支出金			3,473	3,660	5,450	5,450	18,033
県支出金			1,505	1,672	1,811	1,811	6,799
地方債			0	0	0	0	0
その他			0	0	0	0	0
一般財源			4,552	4,258	7,632	7,632	24,074
人件費			3,074	3,074	3,074	3,074	12,296
職員			0.31人	0.31人	0.31人	0.31人	1.24人
時間外勤務			40h	40h	40h	40h	160h
嘱託員			0.40人	0.40人	0.40人	0.40人	1.60人
フルコスト	0	0	12,604	12,664	17,967	17,967	61,202

妥当性 (市の関与)	有害鳥獣による農作物被害は増加しており、農業者の生産意欲を低下させないことや農作物の生産安定のためにも必要な事業である。
有効性 (施策貢献度)	農作物の被害防止対策としては、防護柵の設置に加え捕獲従事者が猟銃及びわなによる駆除を行い、例年以上に駆除を行ったが、イノシシの繁殖数が例年に比べて多く、農作物被害額の目標値は達成できなかった。
効率性 (コスト)	本事業は捕獲従事者の捕獲意欲の維持のため、現在の捕獲報償金単価は適切である。

1次評価	担当者意見のとおり
2次評価	1次評価意見のとおり